

【ねがいはましては】

平成18年4月26日

第187号

KYOWA SCHOOL

「元気」

4月23日～24日にかけて、陰山英男さん（100マス計算などで学力アップを実践なさった先生、現在立命館大学教授、同小学校副校長）の講義があり、行ってまいりました。「学力の新しいルール」と題した講義は、長期間にわたるデータなどを分析し、そこから見えてきたさまざまな内容はスクリーンを使用し、分かりやすく説明されました。

100マス計算ばかりが目立ってしまい、他の実践が影を潜めがちであったことを強調し、次の3本柱を掲げておられました。「朝ごはん・睡眠・基礎的学習」、公立の小学校（土堂小学校）を舞台に、学力向上を実際に成し遂げたことは、多くのマスコミの取材を受け、瞬間に日本中に広がりました。

伝言ゲームのような現象は、やがて「100マス」だけが先走りを始め、今に至っていることは残念でなりませんと語っておられました。

さて、なぜこの3つが必要であったか、「朝ごはん」・・・成長過程にある子どもたちの活発な血液循環は、体だけでなく『脳』にも当然必要であり、1日分のエネルギーを補給するためにも朝ごはんは必要不可欠なのです。それも『ご飯』だそうです。「睡眠時間」・・・睡眠中の子どもたちの体は活発に成長を続けています。大人たちのように成長が止まってしまったからだとは違って、疲れを取ることでプラス、成長なのです。より質の高い深い睡眠が必要です。睡眠不足は知らず知らずのうちに、体や脳にストレスをためることになり、日中、いろいろな現象が現れます。『落ち着かない、切れる』などはそのひとつなのかもしれません。そして「基礎学習」・・・『読み・書き・計算（そろばん）』になります。100マスはその具体的実践のひとつになります。

この3つの中に共通しているもの・・・見つけました。『ところが元気』であるということです。朝ごはんには家族の団欒があります。家族がひとつになって食事をするということは、1日が始まる上で子供に安心感を与えます。

「今日も一日、元気に過ごせそうぞ、だって、おじいちゃん。おばあちゃん、お父さん、お母さん、兄弟たち・・・みんな元気そうなもの、もし僕に何かがあっても、きっとこの人たちが助けてくれる・・・安心安心！」

睡眠がしっかり取れると言うのも『安心』だからこそ眠れます。もしおうちの人が誰もいなかったとしたら、安心して眠りに付くことができるでしょうか。夜中に何度も目が覚めるというようなことでは、翌日・・・。

読み書き・・・日本人としての日本語をしっかりと誤解のないように心にインプットする、家族や友達間との言葉のやり取りにも誤解がありませんから、安心感が宿ります。漢字にしても一つ一つに意味がありますから、言葉の伝達を文字に変換したとしても、誤解を最小限に防ぐことができます。安心感が宿ります。

計算・・・数字はうそをつきません。人はうそをつかれると非常に不安になります。数字はそんな不安を解消してくれるのかもしれませんが。100マス計算にしても、どんどんタイムが良くなっていくのを数字からいただくことができます。安心感が宿ります。陰山先生の100マスの方法は、同じものを2週間なさったそうです。それでよいのだそうです。大切なことは子供たちに『自信』を付けさせることだからです。

私は20年前から勉強を教えるようになりました。いや、始まりは「一緒に勉強させてね！」でした。それで授業料をいただいていたのですから、ドロボーです。一貫して基礎重視です。そして「こころ」重視です。その子の心の中をそっと覗かせてもらう。彼らの1行動、1発言から、こころを覗かせてもらいます。そして現れるわたしのこころ・・・助きたい！それが通じたとき、今までにない表情を彼らは見せ始めます。私の中でも喜びが踊っています。T君「中学3年」、2年生3学期後半より、3年生の数学を始めました。先日聞きました。「勉強楽しくなったろ！」「うん！」踊っています。私の心です。R君、この半年、見違えるほど落ち着きが現れ、素直になりました。

「学校の先生全員が栗田先生だったらいい！」泣いています。私の心がうれしくて泣いています。助けることができました。よかった！なぜそのようなことを言ってくれたのか・・・。

「あのね、今日こうやってわりざんのプリント（ $20 \div 6 = 3 \dots 2$ のようなもの、ある5年生の学校からの宿題）やったでしょ、5分くらいで終わる子もいれば、20分以上もかかる子もいたよね。学校だったらさ、もし20分近くかかっていたら、『おまえ、まだ終わんねーのかよ！』だとか言うてる子いるでしょ。」「いるいる！」「それって絶対にいじめの言葉だろ、そういうの無しの学校が作りたいたよね・・・。」確かにここにはいません。一番大切なものは、成績より何より『こころ』だよ、と言い続けている私のことを理解してくれています。M君もそうでした。

「いるいる」といいながら、心なしか涙ぐんでいます。これでは勉強など楽しいはずがない・・・。

その子の精一杯が100点、人の心を平気で傷つけることは、どんなにテストが100点ばかりでも0点、ある中学生が車から降りるときに元気よく言ってくれます。「明日またよろしくお願いまーす。さようなら。」明日があること、安心をありがとう。『こころ』をありがとう。ちなみにその子、先ほどのわりざんプリントだけで、1時間行っていました。楽しそうでした。